

# アルナーチャルの土地開発

出張者（所属）：宮本真二（琵琶湖博物館）

## ●日程

2009年9月9日～9月25日 主要訪問国名など：インド

## ●行程

9月9～10日：閩空ーバンコクーバンコクーカルカッターゴウハティ（ゴウハティ大学にて打合せ）  
9月11日：ゴウハティームクタプール（共同研究者との打合せ）  
9月12日：ゴウハティームクタプール（移動）  
9月13日：テズプール（資料調査）  
9月14日：テズプルーボンディラ（移動と共同研究者との打合せ）  
9月15日：ボンディラーディラング（移動と共同研究者との打合せ）  
9月20～20日：ディラング（周辺村での現地調査）  
9月21日：ディラングーボンディラ（周辺村の現地調査と移動）  
9月22日：ボンディラーゴウハティ（移動とゴウハティ大学での打合せ）  
9月23日：ゴウハティームクタプルーゴウハティームクタ（共同研究者との打合せと移動）  
9月24～25日：カルカッターバンコクー閩空（移動）

## ●報告



近年の開発地域で確認される伐採株



大規模な斜面崩壊



堆積物中ののこる炭化木片

プロジェクトの拠点地域であるディラング近郊において土地開発にかかわる集中現地調査を実施した。

その結果、年代は現段階では未定ながら、埋没腐植土層や埋没した炭化木片が数地点が確認され、当該地域の歴史的な土地開発過程を検討する際の素材を得ることができた。